

## 各自で大雪に備えて準備を

**本**格的な冬の訪れを感じられる季節となり、厳しい冷え込みとなる日々が多くなっています。鈴鹿山脈の麓に位置する菰野町は、県内でも降雪量が多い地域です。近年では平成29年1月に大雪被害が発生し、町内各地で50センチを超える積雪がありました。除雪が必要な箇所が多数発生し、

一部の家庭では車が動かさず外出できなくなるなど、日常生活に大きな影響がありました。また、道路上の倒木により、車両が通行できない事態や、積雪や路面の凍結によって通学路の安全が確保できず、町内の小中学校が休校となるなどの被害もありました。このよう大雪被害は、今後いつ発生するかわかりません。これから一層寒くなるこの時期に、まずは各自で雪への備えをお願いします。

## 地域で除雪

### 協力して除雪作業を

積雪の際は、家から主要な道路までの区間は地域で協力して雪かきをお願いします。また、長期間外出できない状況に備えて、食料、飲料水なども備蓄しておきましょう。

## 備蓄品をCHECK!

- 食料
- 飲料水
- 葉
- 灯油



## 融雪剤

### 道路などに適切な散布を

融雪剤は、積雪や凍結の恐れがある道路や橋付近の道路脇に、県や町が事前に配備しています。また、各地区でも保管しています。ホームセンター等でも購入できますので、大雪が予想される場合は事前に準備をお願いします。



## 効果的な融雪剤の使い方

融雪剤は、すでに積もった雪を溶かすより、降ってきた雪を積もらせないように使用する方法が効果的です。また、積雪後は降り積もったばかりの雪よりも踏み固められて凍結した状態の雪に散布した方が効果的です。効果的に融雪剤を散布しましょう。

## 天気予報の確認

先の天気予報を確認し、雪マークが表示されている日があれば積雪の可能性があります。また、雪マークが出ていない日でも、急激な気温の低下によって雪が降ることもあるので、気温の変化にも注意しましょう。

## 散布の準備

融雪剤は直接触れると皮膚に炎症が発生するおそれがあります。直接触れないようにゴム手袋を着用し、スコップなどを使って散布します。

## 融雪剤を散布

散布量の目安は、少量の雪の場合、1㎡に対して約30〜50gです。散布しすぎると、融雪剤によって滑りやすくなるので注意が必要です。また、融雪剤を1か所に大量に散布すると融雪剤同士が固まってしまうので、均一に広げないように散布しましょう。

# 冬への備え 雪対策

## 雪かき道具

### スコップなどを準備

積雪時はこまめに雪かきを行ってください。車庫前や路面を雪かきするためにスコップなどを準備しておきましょう。また、外出先での積雪に対応するために車にも非常用のスコップなどを備えておくとう安心です。



## 冬用タイヤ

### 早めの交換を心がけて

積雪や道路が凍結している恐れがある場合は、不要不急の外出を避け、車の運転も控えるようにしてください。積雪や凍結道路を運転する場合は、冬用タイヤやチェーンなどのすべり止めの措置を行わないと法令違反となります。



## 倒木への対応

### 倒れやすい木に注意

道路や隣地に倒れる可能性がある竹などの木々は、電線の切断や通行の妨げとなるおそれがありますので、積雪前に伐採しておきましょう。また、道路上に倒れた軽い木々などは各自で撤去いただくようお願いいたします。



## 町道の除雪作業

### 主要な道路を除雪

積雪があった場合、町道は委託業者が除雪を行います。しかし、平成29年1月のような50センチを超える大雪では一斉に除雪できないため、交通量が多い主要な道路から優先的に除雪を行います。

